

JLPA

一般社団法人 日本エルピーガスプラント協会

JAPAN LPGAS PLANT ASSOCIATION “JLPA”

協会案内

協会概要

正式名称： 一般社団法人 日本エルピーガスプラント協会

設 立： 昭和36年発足、同53年公益法人認可、平成24年4月一般社団法人認可

役 員： 会 長 廣田 博清

副会長 石井 宏明

副会長 後藤 博

副会長 片桐 衆

専務理事 菊地 一博

職 員 数： 7名

住所・電話： 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-20-4 虎ノ門鈴木ビル3F

電話：03-5777-6167 FAX:03-5777-6168

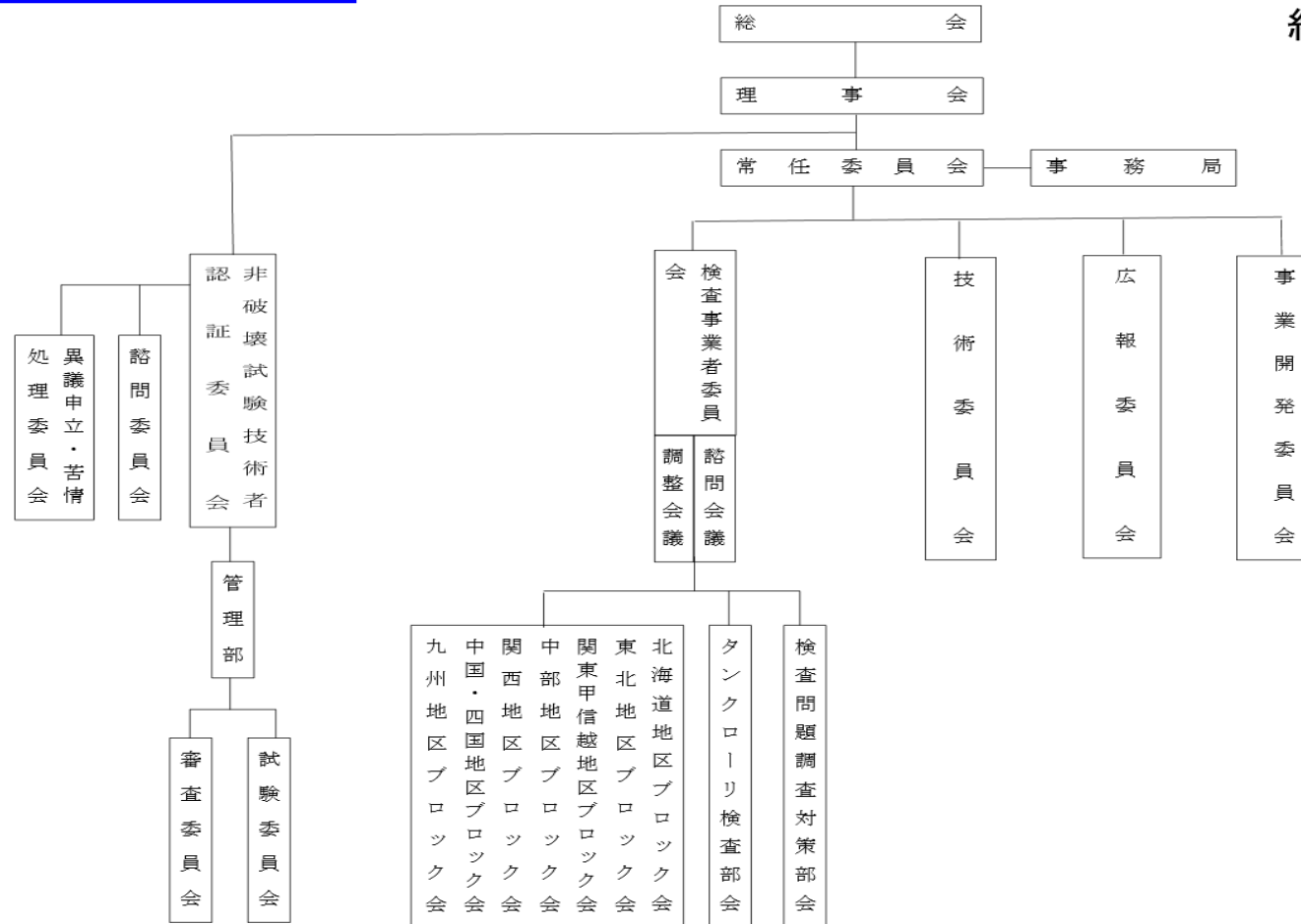
Web: <https://www.jlpa.or.jp> E-mail:jlpa@jlpa.or.jp

キャッチフレーズ: 「高圧ガス自主保安の推進と、次世代エネルギーの進化に、4つの事業で貢献する。」

組織一覽表

一般社団法人日本エルピーガスプラント協会

組織一覽表



沿革と事業・4つの事業

■当協会(通称:JLPA)は、主にLPガス設備(プラント)に関する技術の発展と保安の徹底を目的に、昭和36年に発足し、昭和53年には通商産業省の許可を受け、公益法人として設立されました。また平成24年4月には、一般社団法人として内閣府認可を受け、令和6年で設立63年目を迎えております。

■その創立目的を、もう少し詳しく紐解くと、『LPガスの普及黎明期に、LPガスプラント等に関する技術水準の向上を図ることによって、LPガスの事故を防止すべきであるとの考えに基づいて、自主保安の精神を尊重しながら、精力的かつ献身的にLPガスプラント安全基準(JLPA基準)の作成に取り組み完成させた。さらに、保安確保の万全を期すためには、保安検査を自主保安の側面から支援しなければならないとの考えに基づき、検査技術の向上と普及に努めてきた。

つまり創立以来、ひたすらLPガスプラント等に関する保安確保のため自主保安事業をたゆまず積極的に事業活動として推進してきた』(JLPA30周年記念出版～自主保安事業の軌跡～巻頭会長挨拶から)と言えます。

■創設時の発起人の筆頭である丸善ガス開発(株)(現コスモエンジニアリング(株))始め、(株)石井鐵工所、千代田化工建設(株)、富士車輛(株)、石川島播磨重工業(株)(現(株)IHI)、日本車輛製造(株)、川崎重工業(株)、岩谷産業(株)、と蒼々たる日本のエネルギープラントや元売り各社が、志を持って日本のガスエネルギーの安全性確保のため、利他の精神で、運営に尽力してきた歴史ある協会です。

沿革と事業・4つの事業

■その事業活動は、今日、大きく4つの事業から成ります。

- ① 高圧ガスプラント・LNGの「JLPA基準、指針の制定・改編事業」
- ② 高圧ガス管理者・実務担当者、分野ごとの各種講習・セミナーによる「保安啓発事業」
- ③ 認定検査事業者の検査員教育や非破壊試験技術者の認証・実技講習等の「教育事業」
- ④ 技術と保安の総合誌『LPガスプラント』の編集発行、検査時収集の”不具合事例情報”調査や、『学術論文』の機関誌やHPへの掲載・一般公開、記者発表などの「調査・情報発信事業」

があります。

構成会員と組織

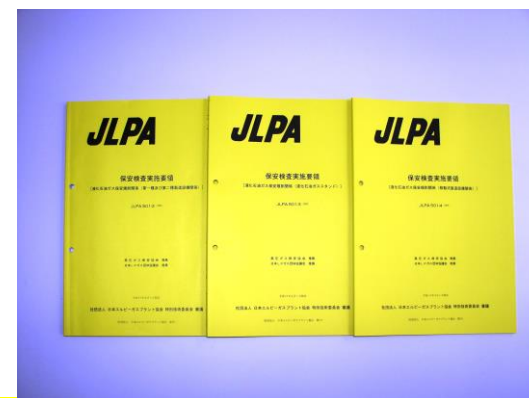
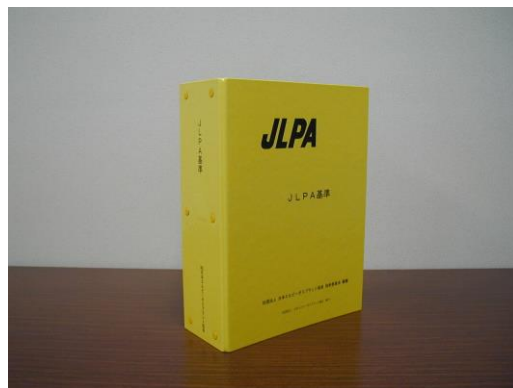
■ 当協会は全国107会員で構成され、LPガスプラントの製造、その構成される機器の製造・販売、安全性の検査、LPガス自体の製造・販売・輸入を事業とする、夫々の法人・個人の事業者から成り立っております。会員は4つの事業を進めるため、総会および、会長を中心とした理事会、分野毎の各委員会、会議、部会、WG（ワーキンググループ）全国7つの地域ブロック会等を編成し、「自主保安活動の推進・促進」と「業界発展のため」に日々、自主的かつ精力的に活動を行っております。



① JLPA基準、指針の制定・改編事業

～ 高圧ガスプラント・LNG ～

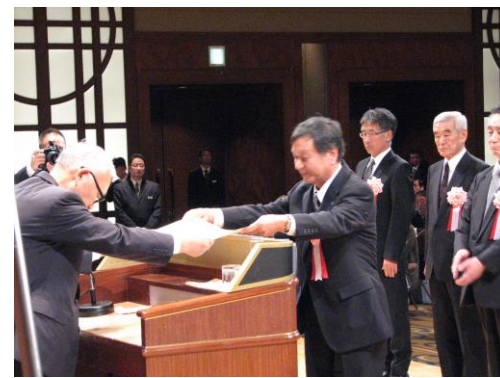
■ 活動の中で、最も、有名なのが「JLPA基準」でしょう。LPガスプラントに関する設計、施工、工事、取り扱いおよび維持に関する業界標準ともいえるべき規格です。技術委員会を中心に環境変化や設備の老朽化対応、法令に準拠する内容に更新活動も進めています。また、これらの基準整備のノウハウを活かして、環境負荷の小さいエネルギーとして液化天然ガス・LNGのサテライト設備検査、タンクローリ保安技術指針らの「LNG指針」も作成するほか、これらに関する周辺マニュアル、指針、要領書も整備しています



②保安啓発事業

高圧ガス管理者・実務担当者、分野ごとの各種講習・セミナー。 JLPA総会表彰・功労者表彰推薦等

- 「講習会・セミナー」は企画が勝負。コロナ禍を経て、以前のリアル会場開催から形式を変え、ZoomでのWeb配信講習が主となっておりますが、年間1,000名以上の受講者を集めているのが、各種の講習会とセミナーです。特に昨年より人数も拡大し、対象者を種別に明確に整理して、より現場目線で、実効性があり面白い講習のコンテンツ企画を行っております。また、協会活動貢献への総会表彰、高圧ガス保安協会全国大会の功労者表彰への推薦活動など、「学びの場」のみならず「讃える場」も提供しております。



③教育事業

認定検査事業者の検査員教育や非破壊試験技術者の認証・実技講習等

■「認定検査事業者の検査員教育や非破壊試験技術者の認証、実技講習」

「保安の根本は、継続的な人作り。高圧ガス保安協会が実施する自主認定制度「高圧ガスプラント認定検査事業者制度」に基づく検査員教育を行うと共に、ガスプラントの設備診断をするための「非破壊試験技術者認証」を、その試験前「実技講習」もセットで受験できると好評を得ています。それこそ手取り足取り経験豊富な講師が、実技のコツを伝授。更に本資格は、“日本非破壊検査協会”との資格相互認証も行っております。



④調査・情報発信事業

技術と保安の総合誌「LPガスプラント」の発行、検査時収集の「不具合事例情報」調査や、「学術論文」の機関誌やHPへの公開、記者発表など

■「多彩な調査・情報発信活動」を行っております。全国の行政官庁や消防署、高圧ガスの工業用消費事業所を有する優良企業から定期購読される「技術と保安の総合誌・LPガスプラント」を年4回以上発行。また対象企業は伏せてありますが、通常知る機会の無い、多様な企業の自主検査、定期検査の「不具合事例」を、会員社の活動の中で収集し、知る人ぞ知る貴重な調査データを日々蓄積・保有。“自主保安”に役立つこれらの情報は、機関誌やHP・記者発表など、多彩な情報発信で広く社会に公開しております。



協会周辺の環境・立地

- 当協会のある東京都港区神谷町は、東京タワーのお膝元、霞ヶ関と六本木にも程近く、恵まれた立地の官庁街です。

管轄の経済産業省(METI)や資源エネルギー庁、高圧ガス保安協会、業界内他団体にも至近で、世界各国の大使館の密集地でもあり、海外の大使館員や家族が気取りなく普段通りの姿で闊歩する地区でもあります。協会内は20坪弱の会議室にも恵まれ、Web講習の講義に収録や配信もこの部屋から行っています。最近では整美された収納、屋内緑化も少しずつ増やし、全国からお越しいただく会員の方々に憩っていただける環境作りを進めています。

ぜひ近郊の方も、東京出張の方も、ちょっとひと休みと情報交換の場として気軽にお立ち寄りください。美味しいコーヒーを準備してお待ちしております。



地図・アクセス



【一般社団法人 日本エルピーガスプラント協会 ご案内】

住所: 〒105-0001
東京都港区虎ノ門3-20-4 虎ノ門鈴木ビル3F
電話: 03-5777-6167
FAX: 03-5777-6168

■アクセス

営団地下鉄 日比谷線「神谷町」駅下車
3番出口階段を上り、左の芝方向へ。左側に
「上島珈琲店」見ながら、「ドトール」「SAWA」を
越して直進。およそ徒歩3分ほどです。
一階にコピーセンターのあるビルです。

※JLPAの入居ビルを通り過ぎて、芝方向に
進み過ぎると、左に「愛宕山ヒルズビル」が
見えてきてしまいます。これが見えたら
行き過ぎです。ご注意ください。